



木下けんじ事務所 〒239-0822 横須賀市浦賀5-8-5-1102
TEL 090-5303-0828



○所属会派: 自由民主党

○所蔵常任委員会

・議会運営委員会: 議会運営の効率化のため、議事の取り扱いや会派間の意見調整を行います。

・総務委員会総務、財務、都市政策、文化振興に関すること及び他委員会に属しない事項を担当します。

誇れる横須賀: 防衛基盤の安定

○原子力空母の配備

当面、安全保障分野における横須賀市の最大課題はなんといっても原子力空母配備問題です。

わが国は安全保障政策の大きな柱として、日米安全保障体制を堅持しています。日米安全保障体制を基調とする日米両国間の緊密な協力関係は、わが国の安全及びアジア・太平洋地域の平和と安定のために重要な役割を果たしており、米国の軍事プレゼンスは依然として不透明・不確実な要素が存在するアジア・太平洋地域の平和と安定を維持するために必要不可欠です。米海軍空母打撃部隊は米国軍事プレゼンスの中核をなすものであり、国策として日米安保体制を堅持する限り、原子力空母の受け入れは必然といえます。

今年2月に原子力空母配備に反対する住民投票条例案は当然のことに否決されましたが、来年の配備までに反対勢力の動向は楽観視できないう状況だと思えます。例えば、彼らは空母配備予定の米海軍横須賀基地における浚渫工事の差し止めを求める訴訟を起こしています。そして、配備を前提とした議論の中でも、米海軍との安全対策協議や防災協同訓練の立案などこれから解決すべき課題も多々あります。また、米軍再編特別措置法でいうところの再編交付金など次元の異なる問題もあります。

江戸幕末の横須賀製鉄所建設以来、横須賀発展の歴史は軍港建設とともにあるといっても過言ではないでしょう。つまり、軍港整備のための国家的投資(約百五十年間にわたり続けられた官民一体としての財産)が横須賀市の発展と市民生活の向上に果たした役割を肯定的に受け止めて、原子力空母の配備問題を考えていくことが、横須賀発展のための合理的な判断であると考えます。



木下けんじへの期待・要望・ご意見などをお寄せ下さい。返信FAX 046-841-6326

氏名

連絡先